

海賊対処行動水上部隊が無事任務を終え帰港

～ 第51次派遣海賊対処行動水上部隊帰国式典の模様～

第51次派遣海賊対処行動水上部隊がソマリア沖・アデン湾に向けて、2025年6月1日に日本を発って以来、約6か月ぶりとなる2025年12月5日に佐世保港（長崎県）に帰港した。

同隊は、小澤誠艦長が指揮を執る護衛艦「はるさめ」であり、松原寛章隊長ら8名の海上保安官を含む約200名の乗員が、事故無く任務を遂行し、無事帰国した。

派遣期間中は、ソマリア沖・アデン湾周辺海域においてゾーンディフェンスで商船の安全を確認したほか、中東地域における関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動も行ってきた。

式典では、小澤艦長が、無事任務を遂行して帰国した旨の報告を行った。

宮崎正久防衛副大臣が、「無事帰国したことを心から嬉しく思う。派遣海賊対処行動水上部隊の働きは関係業界からも高く評価されており、先日、日本船主協会の“感謝の集い”に出席したが、多くの方から活動への感謝の言葉を伺った。世界一暑い国といわれるジブチ、アデン湾の灼熱の太陽の下、連日の厳しい任務に従事してきた諸官に改めて感謝する。」と訓示した。

江畑康孝第2護衛隊群司令が、「188日にわたる派遣期間中、流動的な状況の中で、海賊対処行動および情報収集活動を行うことで商船の安全航行に大きく貢献した。派遣期間中の諸君の努力と献身に敬意を表する。」と大町克士自衛艦隊司令官の訓辞を代読した。

海上保安庁の彼末浩明海上保安監は、隊員に対して「今回の任務の遂行に最大の敬意を表するとともに、今後ますますの活躍を期待する。」と挨拶を行った。

当協会から出席した加藤雅徳副会長は、「日本商船隊を護っていただき、ありがとうございました！」と、半年以上に及ぶ長期任務に謝意を伝えた。

当協会からは平尾真二常務理事、NSユナイテッド海運(株) 齋藤哲也安全管理グループマネージャー兼海務チームマネージャー、川崎汽船(株) 三好康之安全運航チーム長、(株)商船三井 米田輝希海上安全部長、日本郵船(株) 増富聰司海務グループ長代理、三菱鉱石輸送(株) 足立憲一取締役が、全日本海員組合からは立川博行中央執行委員が出席した。

(海務部 事務局)

帰国行事



加藤副会長と小澤艦長



訓示する宮崎防衛副大臣



訓辞を代読する江畑第2護衛隊群司令



挨拶する彼末海上保安監



宮崎防衛副大臣から表彰を受ける小澤艦長



謝意を伝える加藤副会長



護衛艦「はるさめ」乗組員一同



出席した海運関係者